

郵便はがき

541-8790

547



料金受取人払郵便

大阪東局  
承認

1386

差出有効期間  
平成28年6月  
30日まで  
(切手不要)

大阪府中央区南本町2-6-12

株式会社ダイサン  
経営企画室 経営企画課 行

キ  
リ  
ト  
リ  
線



株主番号(※必須)		
フリガナ		年 齢
ご芳名または 貴社名(※必須)		歳
ご職業	男性	女性
ご住所 (〒 — )		

### 株主メモ

事業年度 毎年4月21日から翌年4月20日まで

定時株主総会 毎年7月

基準日 定時株主総会・期末配当…毎年4月20日  
中間配当…毎年10月20日

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店  
および全国各支店でっております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

# DAISAN® Report

## 第41期ご報告書

平成26年4月21日▶平成27年4月20日

## 株式会社ダイサン



証券コード：4750



平成27年4月1日付で、代表取締役社長に就任致しました藤田 武敏でございます。この日は、弊社設立40周年の節目となりますが、昭和55年に業界初のクサビ緊結式足場となるビケ足場を開発し、製造販売を開始してから、仮設足場における業界にて、さまざまな業界初を打ち出して参りました。

足場を通じて社会に貢献し、今後とも“新しい足場文化と安全文化を創造する”ことを企業理念に、事業のさらなる発展に寄与して参ります。

代表取締役社長

藤田 武敏

プロフィール

氏名 藤田 武敏(ふじた たけとし)  
生年月日 昭和43年11月20日(46歳)  
出身校 中京大学  
出身地 山口県

略歴  
平成 5年 10月 当社入社  
平成 12年 6月 大阪サービスセンター係長  
平成 13年 4月 第一営業企画部課長  
平成 14年 4月 営業企画部部長  
平成 15年 2月 住環境事業部部長  
平成 15年 7月 執行役員住環境事業部部長  
平成 17年 10月 執行役員住環境事業部リーダー  
平成 19年 7月 取締役  
平成 20年 3月 営業本部長  
平成 23年 11月 施工営業本部長兼近畿・京滋東海エリア統括部長  
平成 25年 10月 専務取締役  
平成 26年 2月 施工営業本部長  
平成 27年 4月 代表取締役社長 (現任)

- ◎どのような会社を目指すのか  
「お客様目線で現場を変え、みんなで創る感動現場」をスローガンに掲げ、お客様とお互いに感動できる現場、感動の共感を得られる現場を創り、全国に「ありがとう」を届けるサービスを提供してまいります。
- ◎座右の銘は  
“新創共成”として「全員で考え行動し、新しい価値を共に創り上げること」を信条としております。
- ◎趣味は  
スキー・野球



施工品質のさらなる向上に努め、お客様の付加価値向上に資するサービスを提供して参ります。

今期の業績は？

▶ 前年同期比で減収減益

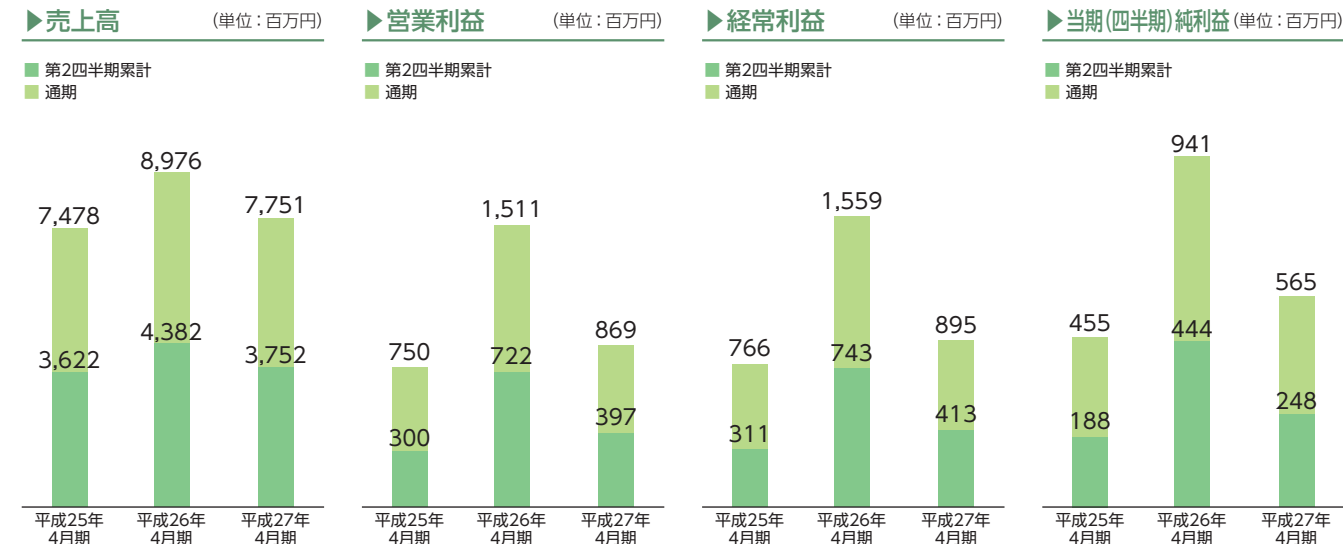
当事業年度における業績につきましては、売上高、利益とも前期と比べ減少致しました。大きな要因としては、当社事業に関連の深い住宅業界において、消費増税による駆け込み需要の反動減の影響が大きく、住宅着工戸数について、前年同月比で減少が続いたことが挙げられます。

セグメント別には、施工サービス事業において、大手住宅メーカーの受注量増加を目論み、営業活動を強化したこと、

国の政策的な関与もあり、市場が拡大しつつあるリフォーム向けの施工品質を高め、物件の獲得に力を入れたことなどから、前年同期と比べ、売上高は微増となりましたが、売上総利益は、ほぼ横ばいとなりました。

一方、製商品販売事業では、前期増税前の販売量が大きく、特に当事業年度からの前倒しによる購入の影響が予想以上に長引いたことから、売上高、売上総利益とも、前年同期比で大きく減少致しました。

財務ハイライト



今期の経営施策は？

▶ 大手ハウスメーカーとの関係強化と、リフォーム、大型建築向け足場の受注を増やす



当社の施工品質を高め、安定した受注量の確保とさらなる発展のためには、大手ハウスメーカーとの関係強化は欠かせません。そのため、足場講習会の実施や安全講習会の実施など、足場を通じ、お客様の付加価値向上に繋がるさまざまな提案を行って参りました。

また、今後とも需要増加が見込まれるリフォーム物件や、マンション、工場、店舗、公共施設などの大型建築物件に対しても、受注量拡大に向け、施工技術の向上を図りながら、積極的に営業活動を行って参りました。

その結果、施工サービス事業においては、受注量の増加に繋げることができました。

中期経営目標は？

▶ 3年後の平成30年度に施工サービス事業の売上高100億円を目指す

設立40周年を迎えるにあたり、中期経営目標として、3年後の平成30年度における目標値を設定致しました。これは施工サービス事業における目標値となり、売上高100億円の達成を目指すものであります。そのための拠点展開として、首都圏エリアに4拠点、中部東海エリアに2拠点、合計6拠点の開設を目指し、施工スタッフの人数も、現状、約530名から700~750名に増員することを目標としております。

ただし、単に拠点数、施工スタッフ数を増やすだけで目標値が達成できるものとは考えておらず、施工力の強化、営業力の強化などを目的とした各種取り組みと、資源を有効利用するための組織運営力の強化を行うことが必要と考え、継続的な体制整備を行っております。

来期の市場動向は？

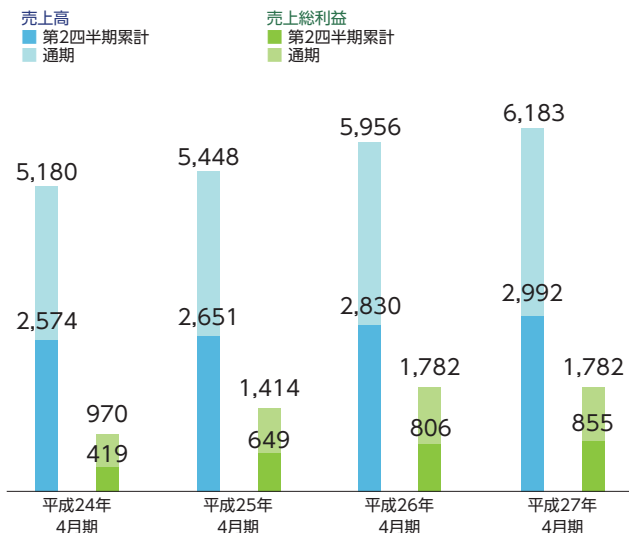
▶ 住宅市場については緩やかに回復すると見込まれる

消費税増税の影響については、地域差はあるものの、緩やかに回復すると思われませんが、注文住宅など、新築の戸建て住宅は減少が続き、中古住宅の流通・リフォーム物件が増加していくものと考えられます。ただし、建築のための職方の不足、原材料の仕入れ価格上昇などが引き続き懸念材料になると思われれます。

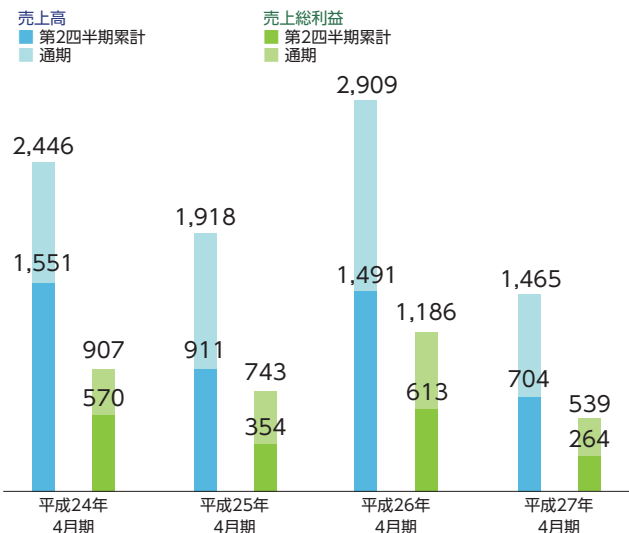


厚生労働省認定の社内検定「ビケ足場施工」の筆記試験の様子

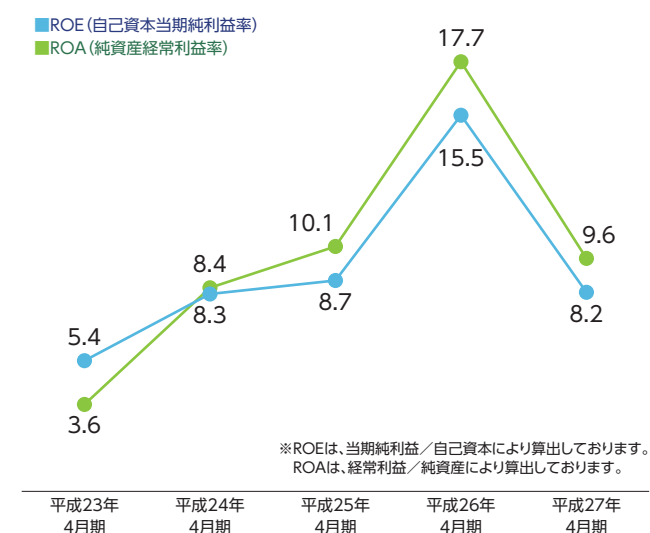
施工サービス事業 (単位:百万円)



製商品販売事業 (単位:百万円)



ROE/ROA (単位:%)



業績予想 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期実績	7,751	869	895	565
	前期比 13.6%減	前期比 42.4%減	前期比 42.5%減	前期比 39.9%減
来期予想	8,600	1,000	1,000	680
	前期比 10.9%増	前期比 15.0%増	前期比 11.6%増	前期比 20.2%増

(注) 上記の業績予想等は、現時点での入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

来期の取り組みは？

▶「日本一の施工サービス会社になる」ため、各地域で施工量、品質ともNo.1を目指す

今期、「人が育つ組織づくりを推進し、差別化戦略を徹底して、日本一の施工サービス会社になる」ことを経営方針に掲げ、施工力、営業力の強化を中心に取り組んで参りました。来期も同じ経営方針を掲げ、各種取り組みを行って参りますが、まずは拠点展開しているエリアごとに、足場の施工量、施工品質で、地域No.1を目指して参ります。



「感謝の一礼」として、お客様や施主様だけでなく、現場に対しても感謝の意を表す取り組みを行っています。

ガバナンス強化については？

▶ 来期より監査等委員会設置会社へ移行

会社法が改正され、新しく監査等委員会の設置ができるようになりました。弊社としましては、現状の組織体制、規模を鑑み、議決権のある監査等委員である取締役を置くことで、取締役会による意思決定および業務執行取締役の業務執行状況等について、より一層の監査・監督機能の強化を図り、コーポレート・ガバナンスのさらなる充実に繋げることができると考え、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行することと致しました。



「導入・フォローアップ研修」  
新入社員に対しては、入社時から3年目までを研修期間として、様々なプログラムを実施しております。

40周年記念謝恩会の開催

平成27年4月1日をもって設立40周年を迎え、シャングリ・ラホテル東京において「株式会社ダイサン設立40周年記念謝恩会」を開催致しました。

当日は、住宅メーカー、ビケ会（協力会）会員企業から80名を超える皆様にご臨席を賜りました。



千葉サービスセンター開設

平成27年2月10日、首都圏エリアの第6の拠点として、千葉サービスセンターを開設致しました。既存の5つのサービスセンターと併せ、首都圏の中心的な商圏をカバーすることが可能となりました。今後も、首都圏市場での存在感を高められるよう事業展開をして参ります。



女性サービスセンター長の誕生

当社初となる女性のサービスセンター長が誕生致しました。

「女性初のサービスセンター長という立場にプレッシャーと責任感をひしひしと感じています。男性と違う女性目線で、人を大切にする風土を作り、全員が意見を出し尊重し合える職場にしていきたいです。」

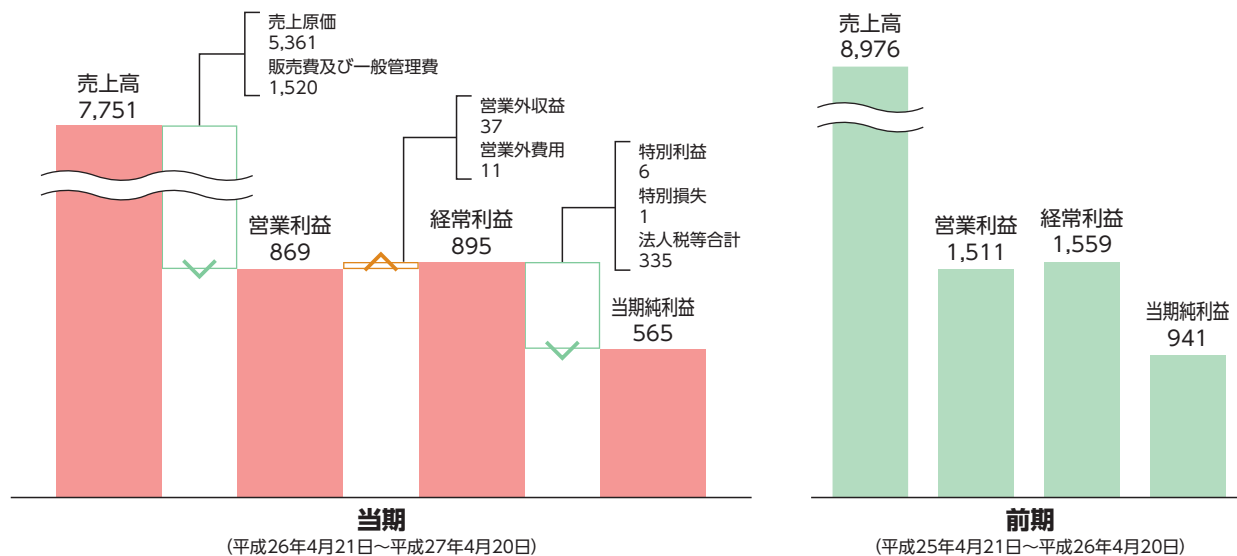


沖本 山口サービスセンター長



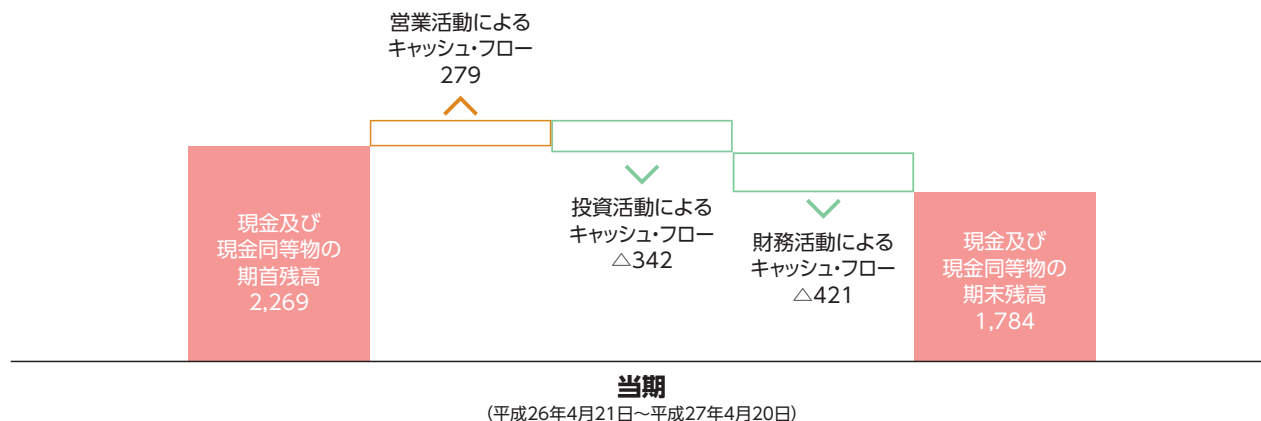
▶ 損益計算書の概要

(単位:百万円)



▶ キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



▶ 貸借対照表の概要

(単位:百万円)

科目	当期末 平成27年4月20日現在	前期末 平成26年4月20日現在	増減率(%)
流動資産	5,043	6,043	△16.5
固定資産	4,064	3,600	+12.9
有形固定資産	1,784	1,811	△1.5
無形固定資産	48	82	△41.4
投資その他の資産	2,231	1,707	+30.7
流動負債	1,412	2,324	△39.2
固定負債	562	638	△11.9
純資産	7,131	6,680	+6.8
負債純資産合計	9,107	9,643	△5.6

▶ ポイント

・流動資産の状況

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末より1,000百万円減少致しました。その主な要因は、賃貸用仮設材が298百万円増加した一方、現金及び預金が285百万円、受取手形が238百万円、電子記録債権が402百万円、有価証券が297百万円減少したこと等によるものであります。

・固定資産の状況

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末より463百万円増加致しました。その主な要因は、投資有価証券が497百万円増加したこと等によるものであります。

・流動負債の状況

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末より912百万円減少致しました。その主な要因は、支払手形が102百万円、買掛金が208百万円、1年内償還社債が90百万円、未払法人税等が485百万円、賞与引当金が41百万円減少したこと等によるものであります。

・固定負債の状況

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末より75百万円減少致しました。その主な要因は、社債が80百万円減少したこと等によるものであります。

・純資産の状況

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末より451百万円増加致しました。その主な要因は、当期純利益565百万円を計上したこと、その他有価証券評価差額金が104百万円増加したこと等によるものであります。

・有利子負債の状況

当事業年度末における有利子負債の残高は、前事業年度末より203百万円減少し、148百万円となりました。その要因は、1年内償還社債を含む社債が170百万円、長期借入金が33百万円減少したことによるものであります。

▶会社概要 (平成27年4月20日現在)

商号 株式会社ダイサン DAISAN CO., LTD.  
 設立 昭和50(1975)年4月1日  
 本社 大阪市中央区南本町2-6-12  
 サンマリオンNBFタワー3階  
 資本金 566,760,000円  
 従業員数 393名(119名)  
臨時雇用者の人員を( )外数で記載しております。

▶役員構成 (平成27年4月30日現在)

代表取締役会長 三浦基和 常勤監査役 森 義明  
 代表取締役社長 藤田武敏 監査役 斐 薫  
 常務取締役 岡光正範 監査役 石 光仁  
 取締役 木川守永  
 取締役 石川勝久

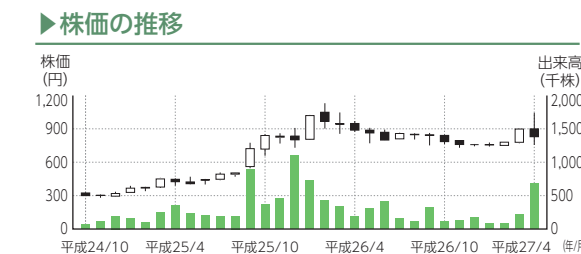
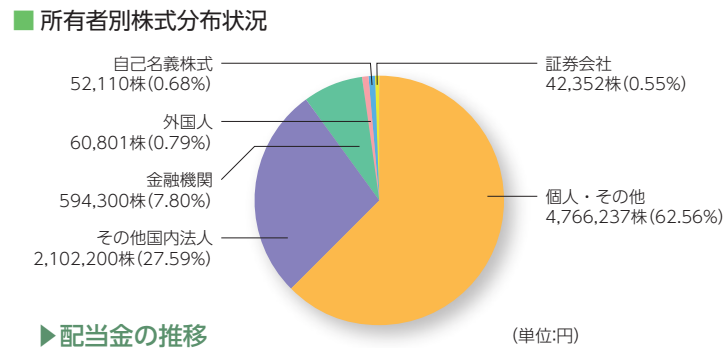
▶株式情報 (平成27年4月20日現在)

発行可能株式総数 26,000,000株  
 発行済株式総数 7,618,000株(自己株式を含む)  
 株主数 1,434名(議決権を有する株主の総数)

大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三浦基和	1,248,000	16.50
エスアールジータカミヤ株式会社	1,061,000	14.02
有限会社和顔	424,000	5.60
ダイサン取引先持株会	397,800	5.26
大原春子	343,200	4.54
金沢昭枝	275,200	3.64
三浦民子	268,300	3.55
ダイサン従業員持株会	235,760	3.12
大阪中小企業投資育成株式会社	200,000	2.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	150,800	1.99

(注)持株比率は自己株式(52,110株)を控除して計算しております。



ホームページのご案内

<http://www.daisan-g.co.jp>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。

トップページ



投資家情報ページ

キ  
リ  
ト  
リ  
線

アンケート項目

- 報告内容をご覧になり、弊社の経営方針・取組みについて、どのくらいご理解いただけましたでしょうか？  
 良く理解できた  まあまあ理解できた  分からない点が残った
- 報告内容をご覧になり、弊社をどのように評価されますか？(複数回答可)  
 事業戦略が有望である  研究開発力がある  商品・サービスが優れている  
 経営が魅力的である  経営の仕組みが優れている  人材が優れている  
 その他 ( )
- 報告内容をご覧になり、弊社にどのような企業イメージをお持ちになりましたか？(複数回答可)  
 将来の見通し(ビジョン)がある  時代を切り開くような事業が期待できる  
 エネルギーギッシュである  獨創性に富む  社会に貢献している  保守的である  
 その他 ( )
- 報告書をご覧になり、弊社に対するイメージや投資判断は変わりましたか？  
 とても良くなった  良くなった  変わらない  悪くなった
- 弊社に関する情報の中で、より詳しくお知りになりたいものは何ですか？(複数回答可)  
 事業内容  財務情報  新製品開発情報  経営方針  業界の動向  
 リスク情報  社長メッセージ  CSR(企業の社会的責任)の取組み  
 配当方針  ガバナンス強化の取組み  今後の展開  
 その他 ( )
- 株式を購入する上で重視することは何ですか？(複数回答可)  
 株価上昇期待  事業戦略  業績  配当利回り  財務内容  
 技術・商品力  安定性  将来性  成長性  株主優待  
 IRIに対する取組み  
 その他 ( )
- 今後の弊社株式について、どのような方針をお持ちですか？  
 買い増し  継続保有  売却
- 今後、弊社に期待すること、ご提案事項等がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。